

えちぜん 議会だより

vol.
67
2022.2.1



越前町

人と技
海土里織りなす
快適なまち



みんな大好き 雪遊び

目次

第4・第5回臨時会報告	2P
12月定例会報告	3P~5P
議員8人が一般質問	6P~13P
「道の駅」視察研修	14P
出欠状況・表紙の写真	15P
議会議員研修会	15P
がんばってます！・編集後記	16P



発表会での和太鼓



12月定例会

会期/12月8日~13日

条例

越前町行政組織条例の一部改正について

少子高齢社会において、多様化、複雑化、専門化する業務課題に対して、効率的、効果的な業務の執行体制を構築するため、越前町行政組織条例の一部を改正する。

適用期日 令和4年4月1日

課の再編

【現行】企画財政課

【改正後】財政課、企画振興課

【現行】福祉課

【改正後】子ども未来課、障がい生活課、介護福祉課

【現行】建設課

【改正後】都市整備課(名称変更)

財政課

予算の編成、執行管理、交付税および交付金等、町債に関する事

企画振興課

計画、地域コミュニティ、公共交通およびふるさと納税に関する事

子ども未来課

児童福祉・医療、子育て支援、保育所、

児童福祉・医療、子育て支援、保育所、

第4・5回臨時会

会期/11月19日・30日

補正予算

7月豪雨災害復旧

658万円

30万円

県の補助金を受け、被害を受けた各地区の電気柵の再整備にかかる経費の一部を補助する。

道路の復旧

被害を受けた町道の復旧にかかる修繕料を計上する。

900万円



町道笹川1号線の崩土

農林業用施設等の復旧

2億438万8千円

国や県の補助金を受け、被害を受けた農林業用施設や農地の復旧にかかる工事請負費を計上する。



ふるさと納税推進

8,640万円

全国的なふるさと納税の需要の高まりやポータルサイトの返礼品の磨き上げなどにより、ふるさと納税寄附額が増加していることから、返礼品に要する委託料を追加計上する。

子育て世帯臨時特別給付金

1億5,552万1千円

国の補助金を受け、新型コロナウイルス感染症により経済的に影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため、高校3年生相当までの子どもを養育する世帯に対し、子ども1人につき5万円の現金を給付する。

残りの5万円は、12月20日専決処分により予算措置され、1月以降に給付。

契約

玉田橋上部工架設工事請負契約

契約金額 5,016万円

契約の相手方 (株)丸安建設

河川の復旧

1,300万円

国の負担金を受け、被害を受けた上戸川(織田地区)の復旧にかかる工事請負費を計上する。



上戸川の倒木

補正予算

ケーブルテレビ施設保守

310万円

織田地区の町所有の幹線光ケーブルが荒天によって破損したため、新たな光ケーブルの張替えを行う保守委託料を計上する。

また、越前地区における丹南ケーブルテレビのインターネット等の加入率が、見込みより上回ったため、幹線光ケーブルを増設する保守委託料を増額計上する。

生理用品無償提供

9万2千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的な理由で生理用品の購入が困難な町民の方に生理用品を無償で提供するため、購入費用を計上する。

実施期間: 1月中旬から在庫が無くなり次第終了

提供場所: 越前町役場 福祉課窓口

私立保育所運営委託

711万5千円

保育士の処遇改善による保育単価の増が見込まれるため、国県の負担金等を受け、委託料を増額計上する。

第4・5回臨時会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
承認第12号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町集落排水事業特別会計補正予算(第3号))	全会一致承認
承認第13号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町一般会計補正予算(第6号))	//
承認第14号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度越前町一般会計補正予算(第7号))	//
議案第56号	令和3年度越前町一般会計補正予算(第8号)	全会一致可決
議案第57号	令和3年度玉田橋上部工架設工事請負契約について	//
議案第58号	人事院勧告に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
議案第59号	令和3年度越前町一般会計補正予算(第9号)	//

有害獣対策

イノシシ・ニホンジカ等の有害獣の捕獲数が増加しているため、県の補助金を受け、捕獲謝礼等を増額計上する。



242万円

中山間集落農業支援

生産規模の小さい中山間の農地で個人営業を継続することが厳しいなか、営農維持と活性化を図るため、担い手農家として営農に取り組む農業者に対し、県の補助金を受け、農業用機械整備を支援する補助金を計上する。

433万6千円

商店街活性化拠点施設整備

町勤労青少年ホームは、耐震性がなく老朽化が著しいことから、再整備するための基本計画を策定し、協議を進めてきた。結果、朝日地区のコミュニティ拠点としての機能を併せ持つ複合施設として再整備するため、基本設計と現地測量にかかる委託料を計上する。

560万円

農業経営収入保険料助成

新型コロナウイルス感染症の影響により、米価が大きく下落したことで収入が減少するおそれのある農業者の経営安定を図るため、令和4年の農業経営収入保険へ加入する町内農業者の保険料の一部を助成する補助金を計上する。

174万2千円

- ・助成対象者
青色申告を行う町内農業者
- ・助成額
保険料の6分の1

都市再生整備計画変更

都市構造再編集中支援事業（国庫補助事業）の採択を受け、丹南都市計画区域（朝日地区）における、道路・公園や地域活性化の拠点施設などを整備するため、都市再生整備計画の変更に係る委託料を計上する。

100万円

映画撮影後援

旧萩野小学校笈松分校が映画のロケ地として決定したことから、今後の北陸新幹線福井・敦賀開業に向けたタウンプromoーションのツールとして、本町の魅力を全国へ発信し、町の認知度向上と観光誘客の促進を図るため、映画の製作活動に対する後援負担金を計上する。

300万円



旧萩野小学校笈松分校

織田中学校外壁改修

経年劣化による外壁や手すりの腐食

4,050万2千円

・原作 藤岡陽子「おしよりん」
・監督 児玉宜久
・公開スケジュール
2023年春公開予定
・映画の内容
眼鏡づくりの礎を明治時代に築いた兄弟を描き、眼鏡産業を地元に根付かせることに心血を注いだ人々の物語。映画では旧萩野小学校笈松分校が、眼鏡工場として扱われ、作中の中心的施設として映し出される。



織田中学校の外壁

農業集落排水施設の復旧

7月29日の豪雨災害により上糸生処理場の地下室にある非常用エンジンポンプと糸生東部処理区の横山中継ポンプ制御盤が水没により故障したため、県の補助金を受け、施設修繕にかかる工事請負費を計上する。

583万円

- ・上糸生処理場非常用エンジンポンプ取替工事
- ・ポンプおよび制御盤 一式
- ・横山中継ポンプ場制御盤取替工事
- ・制御盤 一式

発議

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について

越前町過疎地域自立促進計画の期間が令和3年3月31日に期限を迎え、新たに「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法（新過疎法）」が施行されたことに伴い、今後5年間の新たな計画を策定する。

・計画期間 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで

福井県町村議会議長会より、新型コロナウイルス感染症の拡大は、変異株の猛威も加わり、甚大な経済的・社会的影響を及ぼしており、地方財政は来年度においても巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面しているため、「地方税財源の充実を求める意見書」を国会および関係行政庁に対し、提出してほしいとの依頼があった。

本町においては、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくためには、地方交付税等の一般財源総額の確保・充実を国に求めていくことは重要であることから、全会一致で可決した。

12月定例会に提出された議案等

議案番号	件名	議決の結果
議案第60号	越前町行政組織条例の一部改正について	全会一致可決
議案第61号	越前町国民健康保険条例の一部改正について	//
議案第62号	越前町過疎振興対策のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正について	//
議案第63号	令和3年度越前町一般会計補正予算（第10号）	//
議案第64号	令和3年度越前町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第65号	令和3年度越前町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議案第66号	令和3年度越前町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第67号	令和3年度越前町簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	//
議案第68号	令和3年度越前町公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	//
議案第69号	令和3年度越前町集落排水事業特別会計補正予算（第4号）	//
議案第70号	令和3年度越前町農林漁業体験実習館事業特別会計補正予算（第1号）	//
議案第71号	令和3年度越前町上水道事業会計補正予算（第2号）	//
議案第72号	越前町過疎地域持続的発展計画を定めることについて	//
請願第2号	政府の新型コロナウイルス禍での米価格暴落対策が皆無の中 自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について	全会一致不採択
発議第6号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について	全会一致可決

※「請願第2号」の産業土木常任委員会での意見（一部を抜粋して掲載）

「直接、米作りに携わっている方々、例えば農家組合や農協からの求めではない」「コロナ禍で影響を受けているのは、稲作農家だけではない」「求めるような直接給付をした場合、多額の一般財源が必要となり、町単独事業に求めるべきではない」「町や県においては、対象者は限定されるものの、農業者支援のため収入保険保険料の助成を実施しようとしている」との意見があった。



時田 和良 議員

いっぱん質問

一般質問とは
議員が行財政全般に
わたって町に疑問点をただし、
所信の表明を求めるもの



高田 浩樹 議員

空き家等の現状と対策、今後の展開について

本町の空き家の推移は？

高田 本町での近年の空き家の総数および特定空き家の件数の推移と、特定空き家の除却困難な理由について伺う。

建設理事	年度	空き家総数	特定空き家
年	年度	件数	件数
平成28年度	639棟	6件	
平成29年度	757棟	15件	
平成30年度	704棟	10件	
令和元年度	773棟	9件	
令和2年度	764棟	8件	

特定空き家の除却困難な理由は、所有者不明による相続問題、解体する費用の問題などが要因と考えられる。

空き家による事案等は？

高田 空き家に関する住民からの苦情等、また、倒壊、火災や住居侵入、犯罪に関わる使用などの事案と対応について伺う。

建設理事 空き家に関する住民からの苦情等は、過去5年間で86件。内容と

しては、瓦や壁などの落下のおそれがあるものが79件であり、対応策としては、職員による現場確認、カラーコーンの設置や貼り紙等による注意喚起、所有者へ指導文書を送付した。

その他には、敷地内の庭木や雑草の処理、小動物の住みつきなどがあり、対応策としては、所有者に対し指導文書を送付している。倒壊については、大雪によるケースが3棟あり、対応としては、所有者に連絡し、除却していただいた。

火災、住居侵入、犯罪に関わる使用などの事案はない。

総合振興計画での空き家対策の進捗は？

高田 「越前町総合振興計画」における空き家に関する主な目標指標の進捗を伺う。

建設理事	指標内容	目標値	実績
年	年度	件数	件数
令和7年度	空き家情報バンク 延べ登録者数	80件	79件
令和7年度	空き家情報バンク 登録物件成約数	40件	50件
令和7年度	所有者による空き家 除却数	30件	34件

※令和7年度の目標値における平成28年度から令和2年度までの累計実績

今後の展開と方向性は？

高田 今後の空き家対策の展開と方向性について、町長の所見を伺う。

町長

老朽危険空き家については、空き家所有者と相談しながら除却を促進し、除却した跡地については、新しい施策である「空き地バンク」による情報提供、利活用を図っていききたい。

「越前町空き家等対策計画（平成29年3月策定）」は、来年度に中間期を迎えることから、従来の空き家対策の取り組みの評価や検証を行うとともに、時代の流れに

現時点で、令和7年度までの目標値をほぼ達成しているが、さらに件数を伸ばしていきたいように努めていく。

高田

既に目標値を概ね達成していることは、とても素晴らしいことだが、一方、空き家の総数が750棟を超え、今後も増加が想定されることを鑑みると、影響度としては限定的であることは否めない。

ご答弁にあるようにさらに件数を伸ばすとともに、実効性の高い施策を軸とした目標設定の検討も必要だと考える。

沿った施策を精査し、空き家の増加抑制と適正管理につながるよう、空き家等対策協議会において計画の見直しを行う。

今後の空き家対策の方向性としては、本町の実態に合った事業内容を検討し、これまで以上に積極的な対策を講じ、空き家の有効利用を図り、町内定住を推進していく。

高田

「空き家等対策の推進に関する特別措置法（平成27年施行）」以前、また、以降において、本町の空き家対策では、先進的かつ積極的な取り組みを行ってきた。

しかし、令和元年度の町民意識調査によると、空き家対策の推進に対する満足度は低い状況である。

空き家は、住民の生活環境にとって身近であることから、施策を着実に展開しても空き家が増え続けられ、厳しい評価になるのも当然だと考える。

来年度は、「越前町空き家等対策計画」の見直しの年度であり、今後の施策の展開において、重要なポイントになる。

ご答弁にあるように時代の流れに沿った施策を精査し、計画の見直しを行い、実効性の高い施策が展開できるよう願います。

人口減少対策とまちづくりについて

コンパクトシティの構築を求める

時田

本町の人口は、令和2年国勢調査の速報値で2万118人であり、前回の平成27年調査の2万1,538人に比べ1,420人減少した。しかし、国立社会保障・人口問題研究所が平成30年に発表した推計数の1万9,892人を上回っている。この5年間の本町の自然動態と社会動態の状況を見ると、人口減少が多少抑制されたのは、社会動態によっての影響が要因だと推察される。そうすると、転入者を増やし転出者を減らすことに力を入れることが、現状として一番効果的な人口減少対策になると考える。そのためには、町が主体となってまちづくりの具体的な計画を立て、効率のよい「コンパクトシティ」の構築を目指すべきだと思うが、町長の所見を求めたい。

旧丹生合同庁舎跡地の活用は？

時田

旧丹生合同庁舎跡地の活用については、どのような考えを持っているのか。

町長

いろいろな活用方法が考えられるが、定住促進の観点から住宅用地の造成を含め、有効的な活用を検討していきたい。



▲旧丹生合同庁舎

町独自の定住化に向けた支援を

時田

近隣の鯖江市、越前市、南越前町を訪れ、定住化に向けた支援制度、補助事業などについて話を聞いた結果、鯖江市以外は独自の制度を定めていることが分かった。

町長公約にある、「定住促進策としての「持家住宅建設促進事業」で、一定の条件を満たして住宅を新築した場合の補助制度を拡充する」ということを掲げていたが、具体的な案があるのか。

町長

この事業については、対象者は本町に5年以上定住する意思のある若者世帯を考えている。補助額等については、他の補助制度を参考に精査し、来年度の事業化に向け準備を進めている。この事業により、定住および移住の促進を図り、人口減少に歯止めをかけた。

時田

これまで本町が行ってきた移住者への施策や空き地対策の制度は、当然このまま進めていただきたい。本町で生まれ育った若者を町外に出さない施策に力を入れることが、当面一番大事なことだと考える。また、多世帯同居、近居住





伊部 良美 議員

いっぱん質問



中西 清 議員



越前地区の地域活性化対策について

総合振興計画の評価は？

中西 越前地区の人口減少は著しいが、小中学校のアンケートでは将来、定住を希望する声が多い。総合振興計画のこれまでの施策の評価について伺う。

総務理事

様々な施策を展開しており、計画にある項目の「快適で安全」では、生活基盤の充実や空き家対策のほか、大規模災害への備え、交通安全対策を行ってきた。「健康で暮らしやすさ」では、UIJターナーの受入れ体制の強化や誘致活動などを展開した。「人と仕事の活力」では、農林水産業の担い手の育成や創業支援、企業誘致などにより雇用の創出を図った。「交流を育む」では、特産品や越前ブランドの魅力向上を図り、多方面へのPRに取り組んできた。施策の評価は、前期計画(平成28年度から令和2年度)では35.7%で、目標未達成項目も多かった。

定住施策と雇用の確保

中西 子育て世代や若者、転入者には住宅と雇用の確保が必要である。そして、安全・安心のまちづくりが望まれるが、今後どのような地域活性化対策を考えているのか。

町長

子育て世代に対しては、親の居

コミュニティバスの町外運行延伸などについて

コミュニティバスの町外運行延伸を

中西 越前市や鯖江市、バス会社などと運行延伸に向けた事前協議のほか、地域公共交通活性化協議会で実現に向けた検討を進めることはできないのか、町長に所見を伺う。

町長

コミュニティバスの町外延伸のルートについては、本町から越前市、鯖江市へアクセスする福井鉄道路線バスの鯖浦線および武生越前海岸線との競合路線となる。両路線とも町が運行を支援する路線であり、コミュニティバスの町外延伸を行えば、路線バスの経営悪化を招くものとなるので現時点では考えていない。

総務理事

昨年度地域公共交通活性化協議会において、町民代表や関係機関の委員から意見をいただき、パブリックコメントを行って、デマンドタクシー運行を盛り込んだ地域公共交通計画を策定した。11月には協議会で実施案の承認を受け、区長会連合会において制度の説明をさせていただいた。今後、来年4月からの運行開始に向け、広報での情報発信や各種団体の会合、総会などでの町民への周知を進めるとともに、利用者の方に対してはチラシを配布するなど、新しい制度の周知に努めていく。

越前サブコミュニティセンターの改築について

越前サブコミュニティの今後は？

中西 越前サブコミュニティセンターは、旧越前町時代から区民に利用されてきたが、耐震構造問題や雨漏りなど、老朽化に伴い長年利用ができない状況になっている。スポーツや文化活動、区民活動の拠点および緊急時の避難場所として、センターの早期改築を求め、町長の所見を伺う。

町長

平成26年に、越前地区の議員や地元区長、利用団体の代表で構成された「あり方検討委員会」が設置され、これまでに3回話し合いを重ねてきたが、現在も結論を持ち越したままとなっている。越前地区には公共施設が多く、その維持管理費が大きな課題となっており、公共施設のあり方は非常に大きな課題と捉えている。

燃料の高騰による漁業者の救済策を

漁業者の救済策を

伊部

しげ続きの気象条件により出漁できない状態が続く、そのうえ原油価格の高騰が続くようであれば、漁業者の経営が圧迫される。町は漁業組合と併に、政府に対策を要請する考えはないのか、町長の所見を伺う。

町長

近年、出漁日が減っており、令和2年度の11月から3月までの1隻当たりの出漁日は約30日で、10年前に比べ半分以下である。悪天候が大きな要因で、加えて現在世界規模で問題となっている原油価格の高騰が、漁業者を一段と不安にさせている。

丹生高校野球部の支援について

野球部に支援を

伊部

来春開催の第94回選抜高校野球大会の21世紀枠に、県の代表校として丹生高校の野球部が推薦されており、北信越地区の推薦選考委員会が5県の推薦校から1校に絞られる。そして、令和4年1月に最終選考委員会が開かれ、全国の代表推薦校9校の中から3校の代表出場校が選出される。選出さ

町長

れれば町として支援を行うべきだが、町長の所見を伺う。

※「漁業経営セーフティネット」とは 燃油価格等の上昇に備えて、漁業者と国が資金を積み立て、価格が定の基準を超えて上昇した場合に補填金を支払い、漁業生産を維持していくこと。

国道305号の二部拡幅工事の促進について

拡幅工事を早急に

伊部

国道305号小樟地係の一部の区間は拡幅工事がされているが、残りの区間は中断している。早急に拡幅工事を取り組むように、県に強く働きかけていただきたい。また、小中学校の再編を視野に、アクセスしやすい道路網の整備について、町の計画に沿った協力を国や県に対して要請すべきだが、町長の所見を伺う。

町長

道路管理者の県は、道路沿線の土地の地権者1名から道路用地として提供する提案を受け、当該土地を含む区間約40mの現地確認を実施したが、拡幅についての事業化は今後検討していくとのこと。また、道路改良の促進については、これまで県に対し継続して要望を行っており、今後も重要項目として継続していきたい。



▲国道305号

国道365号北山地係の道路改良工事に伴う除雪基地について

除雪基地の設置を

伊部

国道365号の八田地係から越前市北山地係の道路改良工事について、県では詳細設計等の段階に入ると思うが、八田トンネルから越前市までの除雪が遅れがちになるため、工事の際に除雪基地を設置できないか。そうすれば、除雪の初動体制の起点として効果があると思うが、国や県に対して要請する考えはないのか、町長の所見を伺う。

町長

道路改良については、八田区民と北山町民にはすでに事業説明が終え、八田区および本町内の地権者には道路線形についても了解を得ている。また、除雪車は、委託業者が管理する待機場所から出動しており、県は現状の除雪体制を一層強化し、円滑な道路交通の確保を図っていく方針であることから、現段階では除雪基地設置の要望は考えていない。



はせがわ ままぜ
長谷川 眞恵 議員

いっぱん質問



こまつ たかひろ
小松 高宏 議員

小中学校の通学時における安全対策への取り組みについて

通学路の現状と安全対策

小松

町では通学時の危険箇所の把握を進めているとのことだが、宮崎地区の通学路を、国道365号の抜け道として高速で走行する車が見受けられ、大変危険だと感じている。近隣市町では、保育園や学校付近に「ゾーン30」の区域を設けてあるが、本町でも整備できないか。



▲越前市のゾーン30の区域（区域内は最高速度30kmの速度規制）

町長

ゾーン30は、警察庁において、生活道路における歩行者等の安全な通行を確保するため、区域を定めて各種交通規制をかけるなど、平成23年から全国で取り組みを開始している。区域内では、最高速度30kmの速度規制を実施するために、一方通行や路側帯の設置拡幅などの安全対策を必要に応じて組み合わせ、区域内における車の速度や抜け道として通行する行為の

抑制等を図る生活道路対策として

いる。特に生活道路が集まった区域に、通学路が含まれている場合などにおいてゾーン30の整備が進められている。

町および町教育委員会としては、地区からの要望等があれば、実情を踏まえ、警察当局と十分協議をし、区域の指定について要請していきたい。通学路における危険箇所については、引き続き越前町通学路安全推進会議が策定した「越前町通学路交通安全プログラム」に基づき、現場で関係機関と行った合同点検結果も踏まえ、緊急性を要するものから必要な対策を順次実施し、今後も児童や生徒の通学路の安全確保に努めていきたい。

小松

町道のなかには、路面の横断歩道やダイヤマークなどの道路標示が不鮮明な箇所を多く見かけるので、早急な補修等の対応をお願いする。



手話言語条例制定以降の今後の取り組みについて

制定以降の取り組みは？

長谷川

手話言語条例が制定され、聴覚障がい者の方々にとっては喜ばしいことであるが、町は制定以降、どのような取り組みをしてきたのか。

町長

本年4月に、「越前町思いやり支援の心でつなぐ手話言語条例」が施行された。町が実施している「意思疎通支援事業」では、医療機関を受診する際などに、手話通訳者や要約筆記者の派遣を行っている。「手話奉仕員養成研修事業」では、日常会話程度の手話を習得するため、手話奉仕員養成講座入門編を実施しており、現在8名の方が受講している。「理解促進研修・啓発事業」では、「ミニ手話講座を実施しており、福井銀行朝日町支店の皆様や越前地区民生委員・児童委員の皆様が受講し、今年度中に町職員も実施する予定である。

また、広報誌では6月号から、日常生活で使える簡単な手話を紹介している。そのほか、町内5校の小中学校において、総合的な学習で手話体験を行っている。

また、聴覚障がい者の方と役職員とのコミュニケーションの方法として、タブレットを使用し、文字による連絡やテレビ電話機能により手話でのやり取りも行っている。

手話通訳者の増員は？

長谷川

今後、どのような計画を立てているのか。現在、本町に2名の手話通訳者がいるが、増員計画はあるのか。

町長

手話通訳者は、全国統一試験に合格することが条件で、昨年度の受験者数のうち合格者は266名、合格率19.7%で、福井県からは17名が受験したが合格者はいなかった。

今後の町の取り組みとしては、手話奉仕員養成講座を毎年継続し、1人でも多くの方が手話に対する理解を深め、手話奉仕員として活躍していただけるよう努めていく。また現在実施している事業を継続するとともに、役場イベントスペースを利用した手話に関するパネルの展示や手話普及グッズの作成などに取り組んでいきたい。更に手話が普及し理解が広がるよう、関係者と連携しながら、手話に親しみ学べるような環境づくりに努めていきたい。



町内公共工事について

町内公共工事の現状と今後

小松

本町には、建築大工や電気、左官、板金など様々な職人をつくる建築組合連合会をはじめ、優秀な技術を有する小規模事業者が多数存在するが、これまで行われてきた公共工事の町内事業者への発注状況について伺う。

県発注の公共工事については、下請業者は原則、県内業者を利用することとなっているが、町の公共工事についても、この様な取り組みはできないのか。

町長

町では、越前町財務規則に基づき、1件が5万円以上の契約をするときには、原則複数の業者の方から見積書、または入札書を徴している。入札書を徴する相手方については、地方自治法施行令および越前町財務規則に基づき、入札等に参加する者に必要な資格を定め、建設工事競争入札参加資格審査申請書を提出していただき、資格審査を経た事業者を入札参加者名簿に登録し、その中から選定している。

町内の小規模事業所への発注については、小規模修繕等の契約に係る資格等に関する要綱を設けて

いる。名簿登録は2年間有効で、登録工種は、大工や左官、電気など10工種に分かれており、現在の登録者数は9工種16業者である。発注実績については、令和元年度は61件で約400万円、令和2年度は26件で約120万円の発注となっている。

今後も、小規模事業者はもとより、町内事業所の育成振興を図る観点からも積極的に活用し、受注機会を拡大することにより町内経済の活性化を図りたい。

また、本町発注工事を受注し、下請発注や資材調達を行う際には法令順守に努め、できる限り町内業者を活用するよう働きかけていく。

町独自の補助制度導入を

小松

個人向け住宅の建築において、県では県産材を利用した「ふくい住まい支援事業」や「県産材のあふれる街づくり」などの補助制度がある。町内業者を利用することにおいて、町独自の補助制度を導入する考えは。

町長

町内産業の活性化に繋がるため、関係課において制度を検討するよう指示している。

河川氾濫のその後の対応について

物品置場の改善を

長谷川

7月の記録的大雨では、集中豪雨により糸生地区の牛越橋付近のあるお宅では、床上160cm程度の想像を絶する増水で、丁度その時、電気料の検針に来ていた人が、そのお宅の2階に避難した。幸運にも人的被害はなかったものの、増水したのはこれで3度目である。

牛越橋を挟んで業者が物品を置いているが、その川べりに置いてあるタイヤ等が今回の増水により押し流され河川に流れた。業者の物品置場の改善がなければ、今後と同じような被災が懸念される

が、町はどのような対策を考えているのか。

町長

この件については、災害発生直後に町職員が現地を確認し、県丹南健康福祉センターに連絡した。センター職員も現地を確認したうえで、当該業者に対し河川に流された物品の回収について指導を行った。

町としては、今後も河川管理上の問題があれば、管理者である県と対応を協議するが、物品置場に関しては、民有地内における有価物の保管に関することなので、答弁は控えていきたい。

越前町小中学校再編によるじめのない教育体制について

じめのない教育体制づくり

長谷川

この度、小中学校の再編基本方針案が発表され、説明会が各地区で開催されている。その際保護者からは、子どものメンタルヘルスに対する取り組みや、不安がないよう事前交流などの対応を望むなどの意見、要望がある。この件に関して今後どのように取り組むのか。

基本方針策定後には再編準備委

員会を設置し、通学手段や学校行事など、あらゆる課題について協議していく。

説明会に参加された保護者からの意見や要望のうち、学校再編による子どもたちの不安などへの対応としては、事前交流活動として合同で校外活動や各種行事などを行い、お互いに親睦を深め、再編時には仲良く学校生活が送れるよう配慮する。また、子どもたちの心配ごとや希望などの声を聴く説明会等も計画しながら進めていきたい。



石田 和朗 議員

いっぱん質問



木村 繁 議員

町の認知度向上魅力発信について

官民連携における町のPR

木村

永平寺町内の郵便局では、発送を引き受けた宅配便やゆうパックの包みなどに、町の魅力を発信するステッカーを貼り付けるといった取り組みが始まったが、これは、全国に届けられる荷物や手紙で町をPRする手段の一つである。本町における、官民が連携して行う取り組みについて町長の所見を伺う。

町長

昨年度、北陸電力および北陸電力送配電と締結した協定では、地元特産品のあっせん協力や、観光地の魅力向上に向けた取り組み協力を挙げており、グループネット販売サイトへの町特産品の掲示や販売のほか、町内温泉施設を全社掲示板でPRすることも検討してもらっている。

また、先進的な事例を参考にしながら、官民連携することでPRの幅がさらに広がるよう、施策を検討していく。

町の認知度向上および魅力発信

木村

町の認知度向上および魅力発信

「おくやみハンドブック」について

各種手続をワンストップサービスで

木村

自治体においては、ご家族が亡くなった後に遺族が行わなければならない手続きを、1か所で出来るおくやみコーナーの開設(ワンストップサービス)に取り組んでいくところもあり、遺族の方の不便さを解消している。また、ある自治体では予約制にして、手続きに費やす時間を大幅に短縮し、住民に寄り添ったサービスの提供に努めている。

本町では「おくやみハンドブック」を作成しているが、このハンドブックを基に、実際に役場にいられた遺族の方に、円滑な手続きを行うための取り組み状況および円滑化について伺う。

民生理事

ご家族が亡くなった後の手続きには、住民環境課で行う世帯主変更などの手続き、健康保険課で行う国民年金や国保、介護、後期高齢者医療保険などの手続き、税務課で行う納税義務者の変更手続き、上下水道課で行う名義変更の手続きなど、多岐にわたる手続きがあり、遺族にとっては大きな負担になっている。本町では、遺族の負担軽減のため、各種手続きを



▲おくやみハンドブック

越前町への誘客対策について

ポスター等によるPR戦略

石田

本町は、海・山・里が風光明媚で、町観光連盟をはじめ、漁連、JA、商工会と連携し、観光事業に力を入れている。

しかし、町民の理解度は十分に進んでいないように感じており、数々の観光事業を展開しているが、福井県民特有の「地味さ」が、発信力の弱さにつながっているのではないかと。道の駅などで目にするポスターやパンフレットは、どのような戦略で配布しているのか。

町長

観光地にとって、その土地の魅力を広く情報発信していくことは、誘客を図るうえで重要である。その情報発信の方法も、パンフレットといった紙媒体から、動画配信といったデジタルを活用するものに変わってきている。

ポスターやパンフレットは、県内の飲食店や小売店、町内の旅館などで掲示している。また、町観光連盟で製作している観光ポスターは、県外客をターゲットに、出向宣伝やイベント会場で掲示している。パンフレットは、グルメや体験などのコンテンツ別になったもののほか、町のイベント情報ガイド、多言語対応のものなどがあり、高速道路のサービスエリア

や近隣府県の道の駅にも配布している。

学生による町のPR

石田

PR動画を配信することができると時代となったが、人の暖かみや温もりまでは伝えることは難しい。県内のある中学校では、修学旅行などを活用し、地場産品の販売や地域の出前宣伝を行っているが、本町の学校においても、郷土の素晴らしさをアピールしてほしいと思うが、町長の所見を伺う。

町長

この取り組みは、県が「地域と進める体験推進授業」の一環として行っていたもので、本町においても、総合的な学習のなかで町の魅力をパンフレットにまとめ、修学旅行に持参し、宿泊先や訪問先の企業において、歴史や文化、産業などをPRしている。

町民一人ひとりがPR

石田

福井国体での学生ボランティアで魅せた学生たちの力強いパワー

二次・三次交通の課題

石田

北陸新幹線福井開業に向け、県ではウエルカムソングやダンスをつくり広報活動を強化し、県内の市町では誘客事業に邁進している。

今後、新幹線開業後の敦賀駅からの誘客も重要になってくるが、本町までの二次交通、また海岸沿いから町内陸部までの三次交通が大きな課題である。町内全域での誘客を目指し、アクセスの利便性を図るために、現在どのような取り組みをしているのか。また、今後の二次交通について町長の所見を伺う。

町長

北陸新幹線福井開業は、本町の観光にとって大きな転機であり、



▲ラッピングバス

鉄道を利用する観光客に来ていただくための二次交通対策が課題である。本町においては実証実験として11月から、福井駅と道の駅「越前」を結ぶ「ラッピングバス」の運行を始めた。また、福鉄バスが本町を出発地としたJR武生駅までの「周遊バス」も運行する予定で、誘客効果につながるものと考えている。

新幹線開業後の敦賀駅は、関西中京方面からのJR在来線の発着駅であり、また北陸新幹線の発着駅となることから、敦賀駅からの誘客も重要になってくる。

今後、様々な要因を踏まえたうえで、通年型や経路延伸など観光関係団体と検討しながら二次交通対策を整え、観光誘客を図ってきたい。

議会・委員会・一部事務組合等議員出欠状況

9月18日～12月13日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻・早退

月日	曜日	会 合 名	笠原議長	佐々木副議長	小松議員	時田議員	吉田議員	石田議員	長谷川議員	中西議員	高田議員	藤野議員	米沢議員	伊部議員	木村議員	北島議員
4	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	金	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
12	火	鯖江広域衛生施設組合議会臨時会	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-
18	月	総務文教厚生常任委員会	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
18	月	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
25	月	県市町議会議員合同研修会	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○
27	水	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
29	金	産業土木常任委員会	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○	○	○
29	金	丹南地区市町議会議長会研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	金	県市町総合事務組合議会定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	金	県自治会館組合議会定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	金	県後期高齢者医療広域連合議会定例会	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	火	総務文教厚生常任委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
19	金	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
19	金	第4回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	金	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
30	火	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○
30	火	第5回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	月	議員月例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	水	12月定例会 本会議 (1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	水	12月定例会 本会議 (2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	木	総務文教厚生常任委員会	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-
9	木	産業土木常任委員会	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
10	金	12月定例会 全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	月	12月定例会 本会議 (3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	月	議会広報特別委員会	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-

（上段写真）「わーい」みんな大好き、雪遊び。今年はまだまだ雪が少なく、思いつきり遊ぶことができませんが、毎年、雪山から田んぼめがけて滑り降りる「そり滑り」は大人気で、何回も滑って遊んでいます。また、雪だるまやかまくら作り、雪合戦も楽しいです。

（下段写真）昨年4月から始めた和太鼓は、年長さんの恒例の活動で、みんな太鼓をたたくことにあこがれをもっています。難しいリズムも一生懸命練習をして、今では10人気持ち合わせ「かっこよく」たたけるようになりました。



表紙の写真 織田保育所（織田）

10/25

市町議会議員合同研修会に参加

10月25日、鯖江市文化センターで、地方議会の活性化と地方議員の更なる知識と教養を深めるために、市町議会議員合同研修会が開催されました。

跡見学園女子大学教授の鍵屋一氏とNHK放送文化研究所研究主幹の島田敏男氏を招き、県内の市町議会議員と議会事務局員が参加しました。「議会BCP」とコロナ禍における議会の役割」と「衆院選挙と今後の政局展望」について講演が行われました。

研修会で得たものを今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



「道の駅」を行政視察 (11月11日)



11月11日、議員・商工観光課員・議会事務局員の19名で、本町における道の駅の課題や観光振興・地域活性化施策の審議を深めるため、大野・勝山市の「道の駅」を視察した。

大野市 道の駅「越前おおの 荒島の郷」



令和3年4月にオープンし、新鮮な地元野菜や土産品の直売所がある。また屋外では、カヌーやクライミングなどの体験ができ、キャンピングカーで車中泊できるRVパークも備えており、滞在型観光を目的とした拠点施設の役割を果たしている。

運営者：中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)
敷地面積：49,137㎡（うち建物面積5,082㎡）
設備：ミニ水族館、道路情報提供コーナー、クライミングピナクルなど完備

近代的な建物で外観のデザインも素晴らしく、大野産米粉を使用した「パームクーヘン」を販売するなど地元の食文化を楽しむことができ、県内外の観光客の交流する場となっています。また、防災ヘリコプター離着陸場や自家発電機などがあり、災害に備える防災拠点となっています。今回の視察において参考となる事例もあり、本町の発展のために役立てていきます。（長谷川）

勝山市 道の駅「恐竜渓谷かつやま」



令和2年6月にオープンし、恐竜に関するグッズやお菓子などの土産物、飲食メニューを取り揃え、「恐竜のまち勝山」を感じさせる。中部縦貫自動車道勝山ICから福井県立恐竜博物館の道中に位置しているため、立地的に観光客の誘致に有利である。

運営者：勝山市観光まちづくり(株)
敷地面積：12,570㎡（うち建物面積824㎡）
設備：九頭電テラス（カフェレストラン）、屋外親水広場、滑り台など完備



駅内にはカフェレストランや地元野菜などを販売するスペースがあり、週末にはたくさんのお客様が来られます。運営しているスタッフの平均年齢は37.5歳と若く、新しい発想と行動力で、魅力ある観光地としての「まちづくり」が期待されます。今回の視察で得たものを、今後の本町の行政に反映させていきたいと思えます。（小松）

がんばって ます!

織田地区
グラウンド・ゴルフ協会

Interview activities

自己紹介をお願いします

私たちは、シルバースポーツの環境として、織田地区の支部単位で競い合ってきましたが、町村合併によって織田地区で統一した組織になりました。



現在は男性25名、女性13名の70歳代から米寿越えまでの会員がいます。



活動内容について 教えてください

毎週火曜日と金曜日に、織田中央グラウンドで、午後1時から午後3時まで練習をしています。一般登録会員は、地区の春季・秋季大会のほか、越前町内の4大会(町長杯・GG協会長杯・議会議長杯・織田信長公顕彰杯)に積極的に参加しています。

現在はコロナ過で、町外の交流大会には残念ながら参加できません。大会の参加を待ちわび、思いはますます募っています。GG仲間との再会を楽しみに、今は健やかに練習に励んでいます。



最後に一言お願いします

「ホールインワン」を狙って、真顔で1打1打プレーをしています。そして、ホールインワンともなれば、みんなで一緒に喜び合います。和気あいあいと気軽にできるスポーツなので、皆さんも一緒に楽しみませんか。

(インタビューアー 石田)

お問い合わせ

谷口 喜代志
090-1394-4050

傍聴席へどうぞ 次の定例会は3月です

(日程については、議会事務局にお問い合わせください) TEL.0778-34-8712

編集後記

令和4年も、はや一ヶ月が過ぎました。

さて、2月4日から北京冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。私たちも、日本人選手の活躍を全力で応援したいと思います。一押し競技は、女子カーリングです。

議会だよりは、議員の活動を町民の皆様に理解していただくために、分かり易く、見やすい紙面をモットーに発行しています。毎回、町民の皆様に取材のご協力を頂き、本当にありがとうございます。

これからも議会だよりに興味を持ってもらえるように、内容の充実を図るため、広報委員一同アイデアを出し合い、知恵を絞りながら編集に取り組んでまいります。

(藤野)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 藤野 菊信 |
| 副委員長 | 小松 高宏 |
| 委員 | 米沢 康彦 |
| | 中西 清彦 |
| | 長谷川 眞恵 |
| | 石田 和朗 |
| | 吉田 憲行 |
| | 時田 和一良 |

町ホームページ
QRコード



(スマートフォン用)

町LINE
QRコード



(スマートフォン用)

町公式動画チャンネル
QRコード



(スマートフォン用)

バックナンバーが町のホームページでご覧いただけます

<http://www.town.echizen.fukui.jp/chousei/04/index.html>

